



おとこ

S
ADOGASHIMA

調教無法地帯

1

愛川あん

CONTENTS

001

第1話

027

第2話

053

第3話

※この漫画はフィクションです。実際の人物、団体名等とは関係ありません。





ハハハ

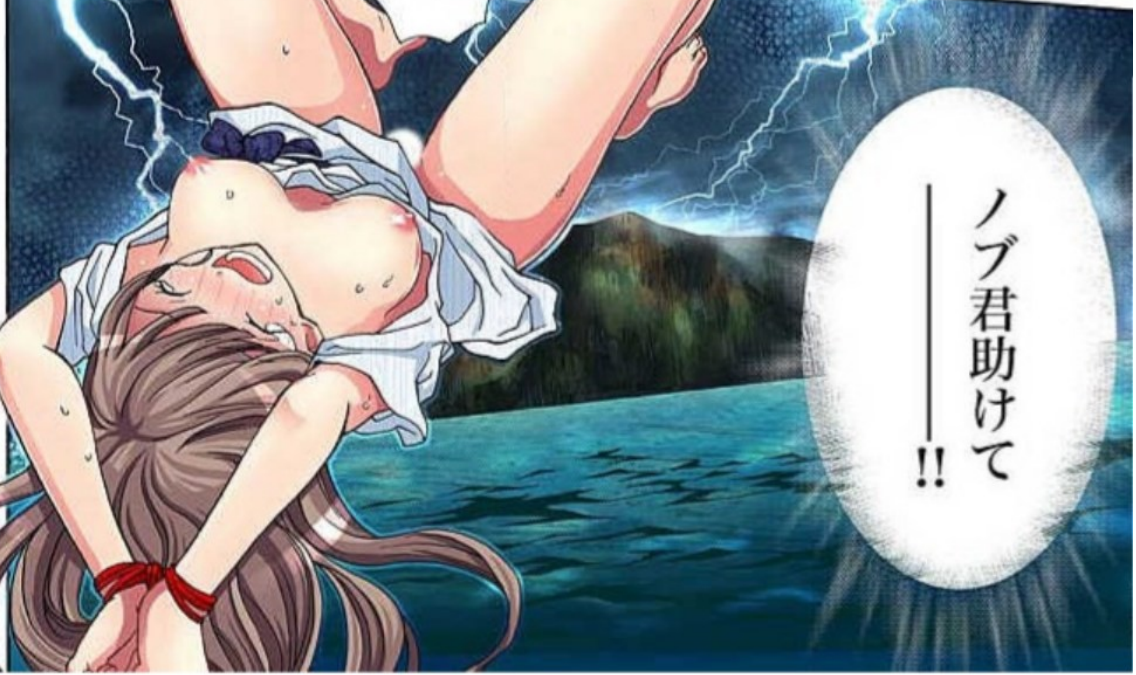
そういう
島なんだよ



…い…



いやあああ



ノブ君助けて
!!



半日前



ノブ君から
旅行提案して
くれるなんて…



…ノブ君…



あたしのこと…

許して
くれたの？



元カレと……
しちゃった
あたしを……!

同窓会で
酔った勢いで

ノブ君とは付き合い始めから
数えて4年……マンネリなんて
言葉は使いたくないけど

正直もうちよつと強引に
来てほしいな……



……なんて思う時もあった……



だからって
大好きな
ノブ君を
あんなに
傷つけること
したなんて

自分でも
信じられない
……!

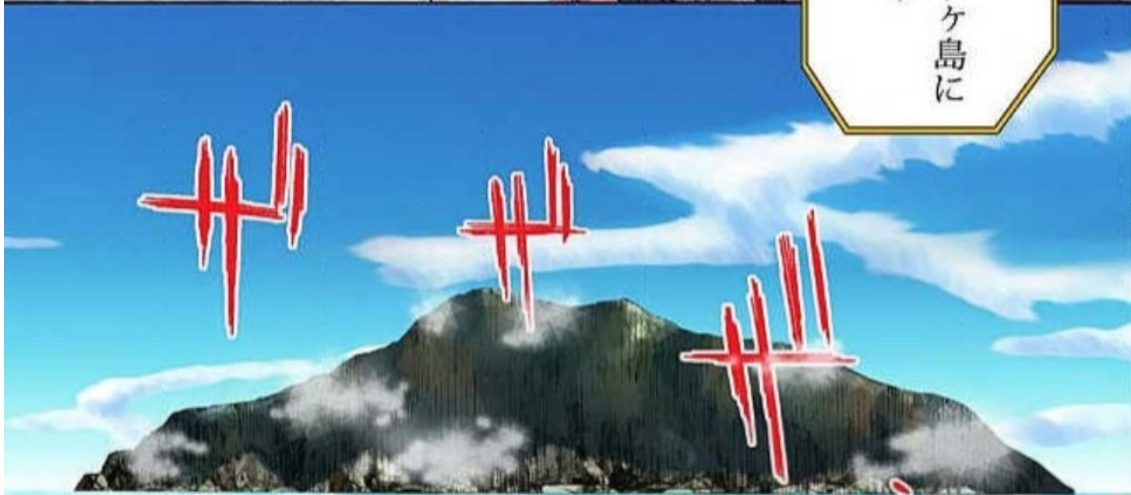


ごめんなさい
ノブ君!

ごめんなさい……!



間もなくサドケ島に
停泊致します



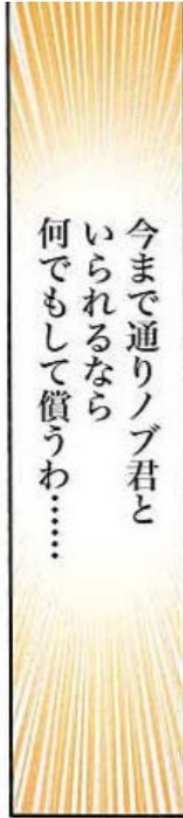
先に行つて
ごめん! どうしても
仕事で遅れそうで...



ここに行こうかほり
サドケ島は知る人ぞ知る
名スポットなんだ



へーえ
この島で
降りるんかい



今まで通りノブ君と
いられるなら
何でもして償うわ……



遅れるくらい
かまわないよ



伝説が
本当ならなー



一人の方が
楽しめる
だろうさ

女の人
一人でねえ

ニヤ
ニヤ



……ふふふ……
……ふふふ……

ああサドケ島は
昔罪人の流刑地
だったんだよ

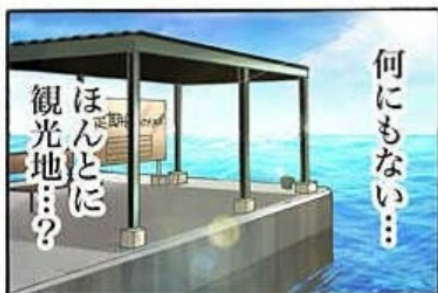


伝説……？

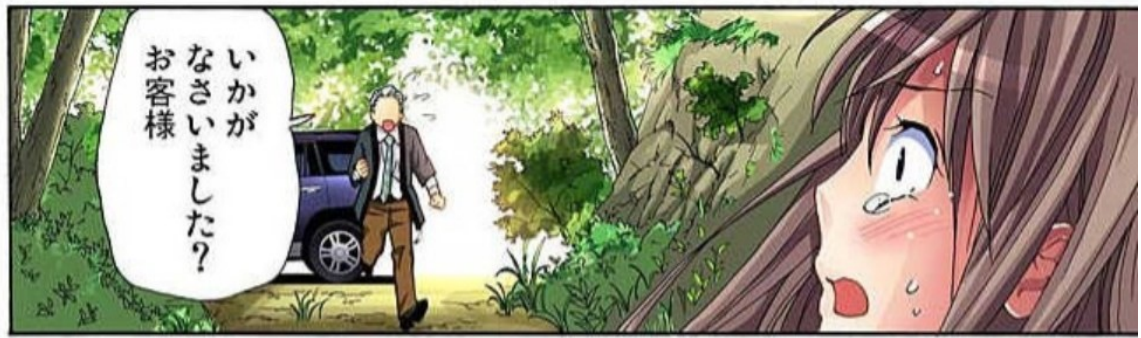
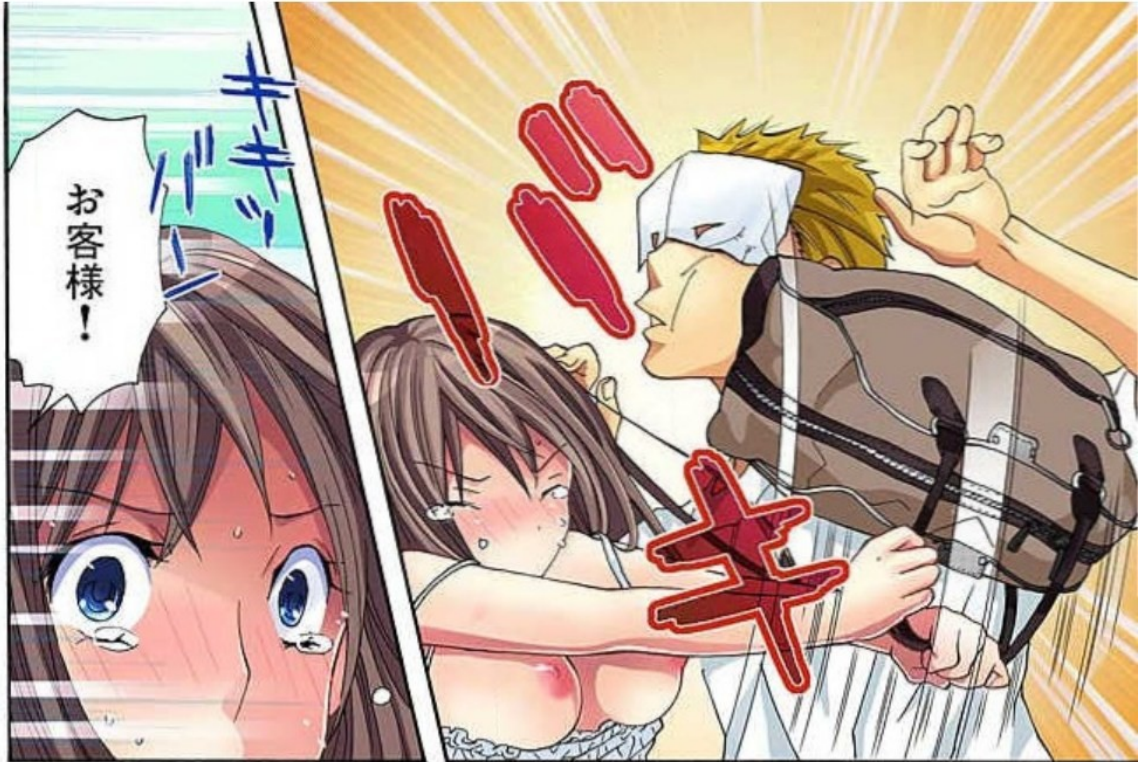
元々普通の島だったこの島は
御国の命令で罪人達の流刑地
とする事を余儀なくされた…

村人たちは他所へ行くことも出来ず
島流しにあった罪人達に
男は殺され 女たちは
性の奴隷として扱われた…











この度は誠に申し訳
ございません！

私どもが
お待たせして
しまったせいで

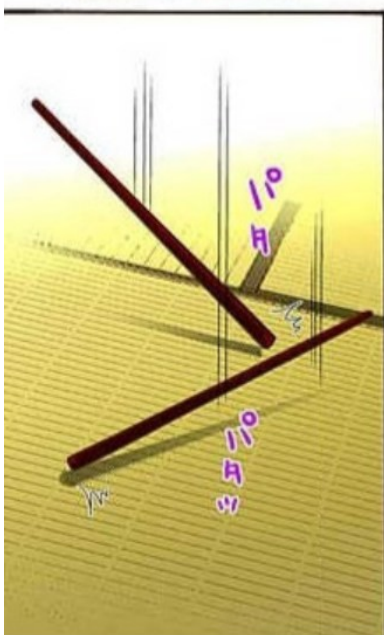


駐在にも連絡して
おきましたので
この旅館にいらっしゃる
限り安心でございます



このとおり
何もない島ですが
温泉でどうぞ
ごゆっくりお過ごし
下さいませ

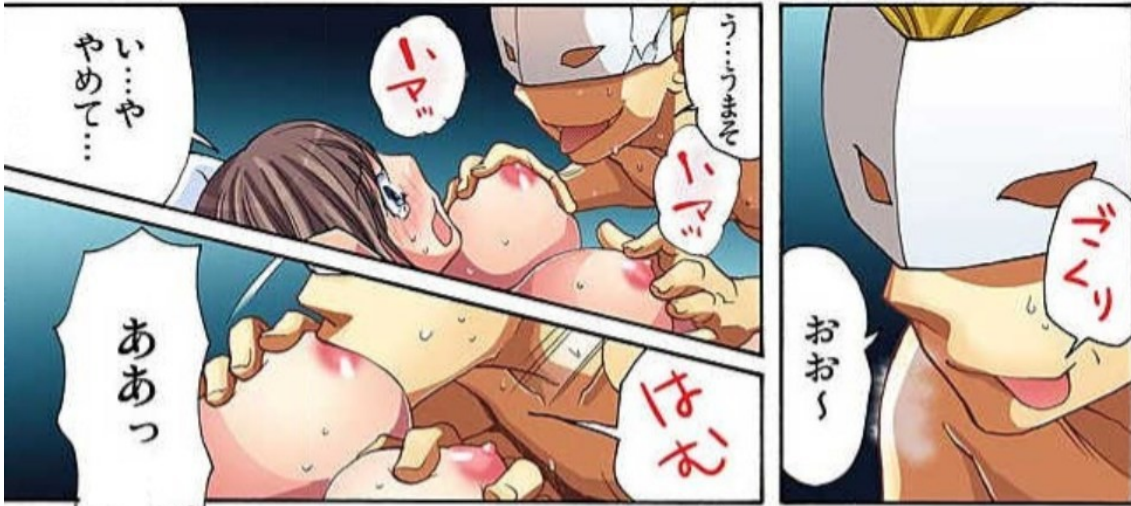














や...っ
あ...ん!



ちゅぷ
ちゅぷ



いや...っ!

ちゅぷ

やっやめてえ



へへ...
感じちゃってんだ

入れちゃおっか

あっ

ひっ





すっげえ
いい...!!

ホラホラホラ
奥さん
いいよ〜!!

ダ...メえ

ぬち、

ぬち、



あん

あん
あっ

イイでしょ？
奥さんも
イイんだ？

う君
あたし.....

いや...あ

ああ
あ









夢……？

そんな……



夢でも
見たんだろ？
ゆうべ
待たせて
ゴメンな！



お休みに
なれましたか？



昨晩は
ごゆっくり……



朝早くに
失礼を致します
お客様



サドヶ島

S ADOGASHIMA

調教無法地帯

第2話



えり？
もう帰るって？

でも島に来て
まだ何もして
ないよ？



夢だったなんて
納得するには

ゆうべのこと



恐いの…

とにかくここに
いたくないの



生々しすぎて…

びびる…





















ノブ君……!!

じゅる
じゅる



ノブ君



すげー
濡れてん
だけど
こいつ



ひ

あ

あああ……

じゅる
じゅる……



ん



いや……







あ…
あんたたち

捕まるの
覚悟の上なのっ
…!?



そうそう オレら
この島の人間じゃ
ねーけどさ

この島の
ことはささ



訴えても
ムダだよーん



オラオラっ
よけーな口
きいてんじゃねえよ

あっ

あっ

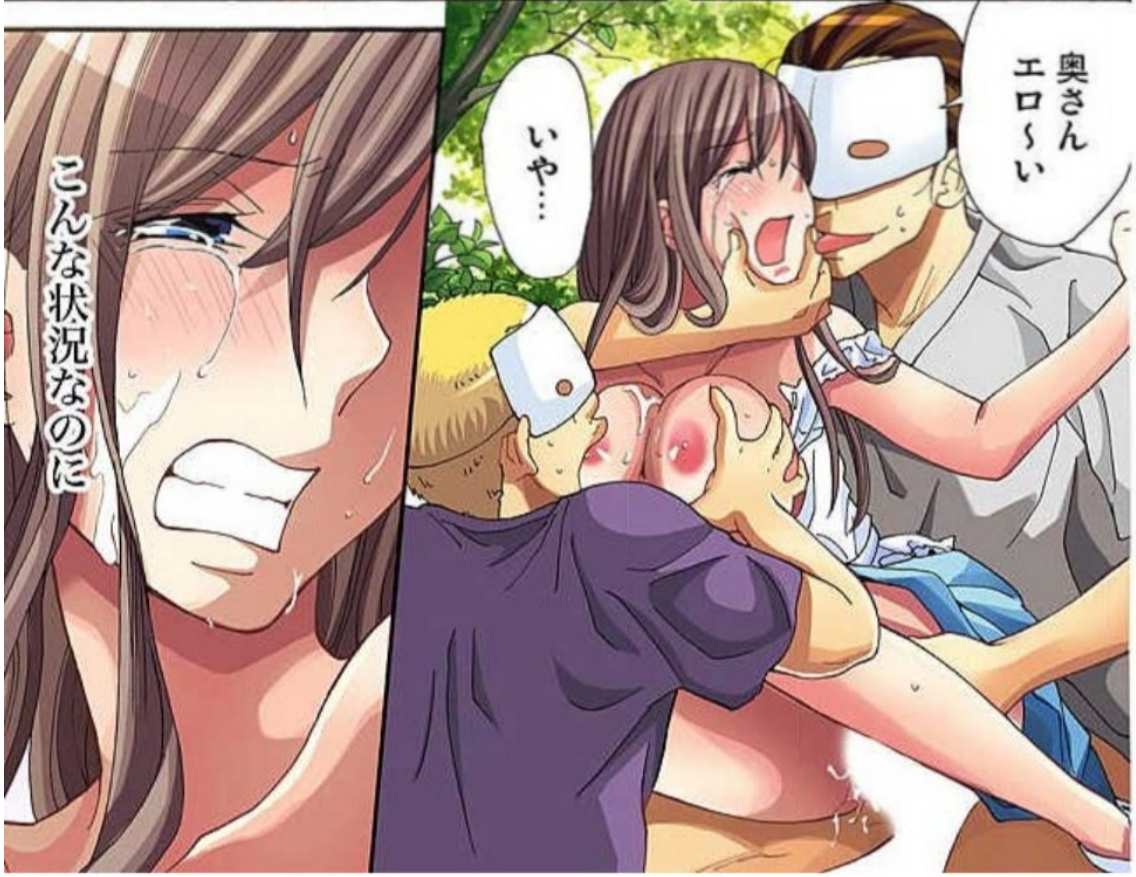


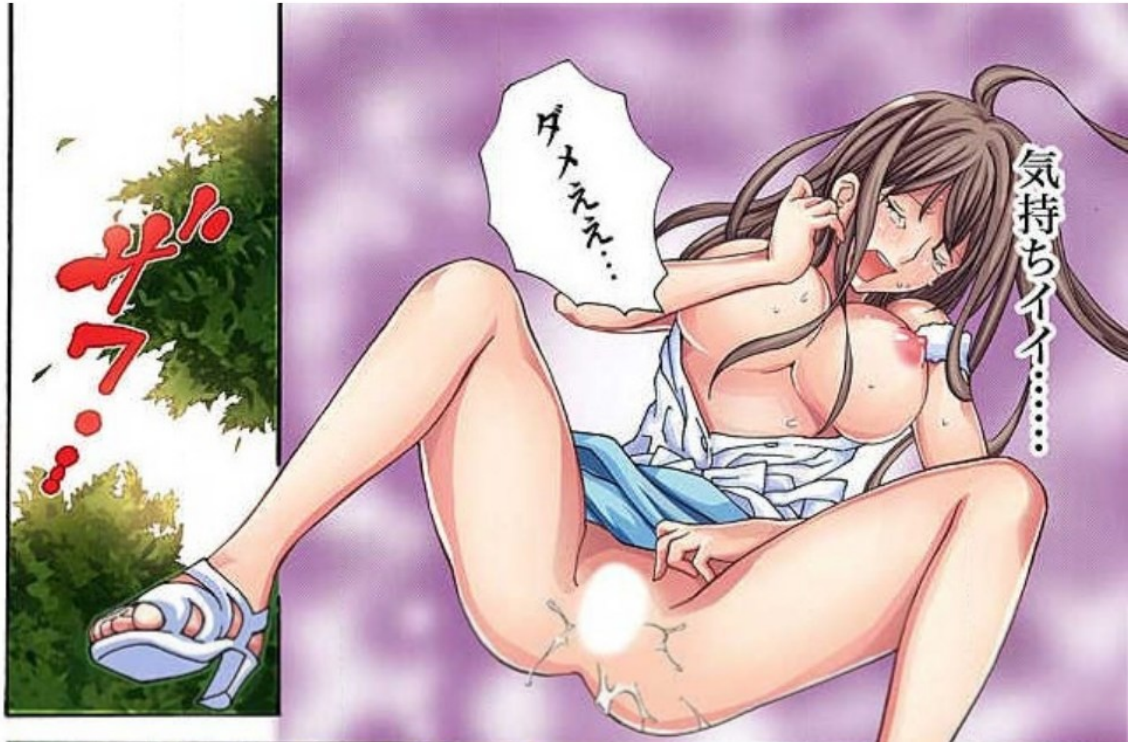
…え？



気の強い
女だっ
やられてる
つてのに

ムダだよーん
どらどらどら







この島の
ことは…

訴えてもムダだ



ゴロ…



くろ君!



フラッ

何なの!?
この島は一体……



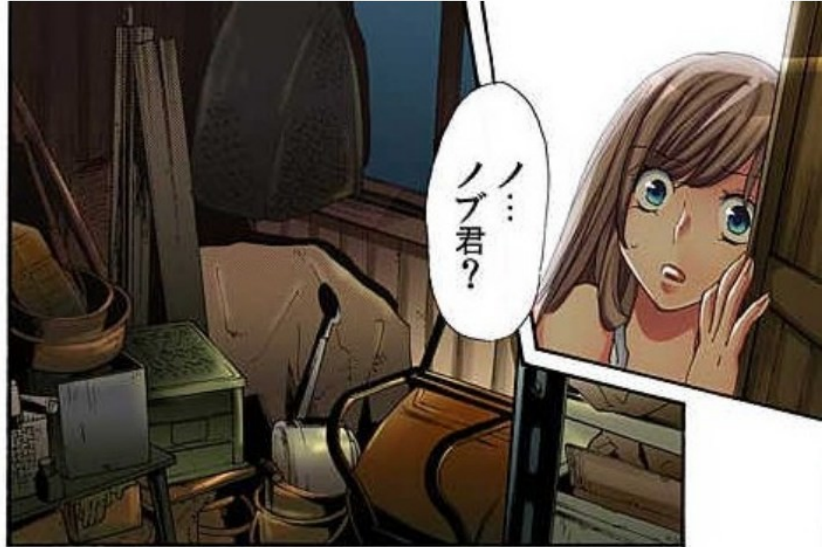
ここは
そういう島
なんだよ!

どうなんだ?

この島には
伝説が――



キ





待って下さい!!

誰か:



僕は怪しい者じゃありません



こんなひどい場所とは知らず:

観光に



早く見つけないと...あああ
あの:



一緒に来た彼女とはぐれてしまつて:



ごめんなさい

ひどい場所って:





そんな…ムチャクチャだわ…!

でも事実なんです
現に怪しい男たちでいっぱいだ



そ…



貴女も…
その…



そんな交換条件…

島の人たちは納得してるの？



島の事情を他言しない代わりに

島内で起きた強姦事件に
関して政府は目をつぶると



な…

な…



それどころか

逆に
密約を利用して
強姦目的の男を
呼び込み

「凌辱ツアー」
などと称して
生計を立てて
いるようですよ



ターゲットとなる
女性客を
引き入れるためか
普通の観光地を
装って宣伝して
いましたから



貴女も
僕たちのように
騙されて来て
しまったのでは？



そして…

旅館の人も
グルだった!!

ゆうべのことも
やっぱり夢なんかじゃ
なかったんだわ!

ノブ君も
知らないで
来てしまったんだ

早くノブ君を
探さなきゃ
…!

あ…あの



何て…
こと…!!



もちろんです

ああ…
ありがとう



あたし
瀬野かほりって
いますあなた…

慎太です

慎太さんは
彼女さんを
探してるのね



あたしは夫を
探すの…

一緒に
行動しても
いいかしら

一人では
怖くて



よかった…

ノブ君
無事でいて



そういえば
喉が
カラカラ…

じゃあ…
いただきます



ああかほりさん

喉は渴いて
いませんか？

お茶なら
持っています



…さあ
行きましょう

早いほうがいい



サドヶ島

S ADOGASHIMA

調教無法地帯

第3話



これは

サドケ島に
古くから伝わる
媚薬です



媚薬……？

何を言っ……



ノブ君



あっ

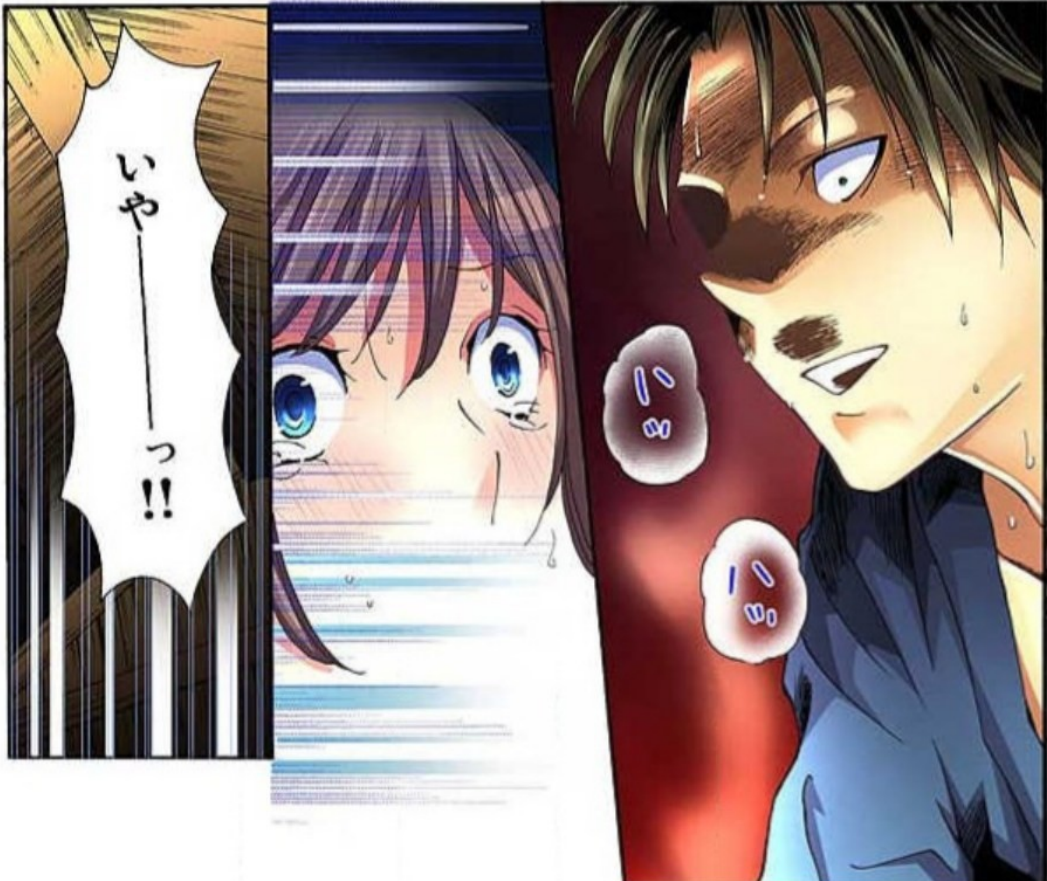


……





















あっ

いくら
拒んでも

フフ...

フ...



や.....
あっ

貴女の体は
僕を
受け入れている

あっ



そ...んな
こと...!
あっ

あっ





媚薬の効果に
しても上等だ

ずいぶんと
良さそうでしたね

キレイに
騙されて
その上
あんなに
感じさせられるなんて…



もういや
こんな島…!!

ぐすっ



キッ



.....?

マゾケ島…
ですって？

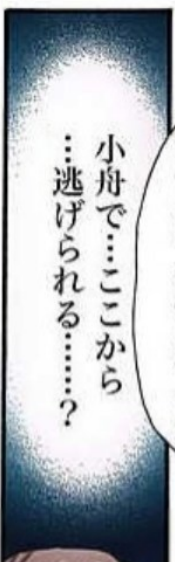


それに
根性もある

貴女が「マゾケ島」へ
行けば面白いこと
なりそうですね



とある
目的を持って…



小舟で…ここから
…逃げられる…？



ここから
小舟で渡れる
距離にある
小島です

サドケ島での凌辱に
耐えかね逃げ出した
女性たちが住んでいる





でも何でだろう



そそんな話
どうでもいいわ

あなたなんか
二度と信用
できないし



第一あたしは
夫を探すんです!

今の表情は
嘘ではなさそう...

どうぞ
ご自由に







やっぱり…

ノブ君は
一旦ここに
来たんだ!

きっと
無事だわ…!



あっ…



あたしの
バッグ!



えっ…



よかった

これで着替えられる…!



キョロ キョロ



な…

中身が!?



とにかく今はこれでも着なきゃ
ノブ君を探しに行けない







…確かに

あなたと
いるより
マシです



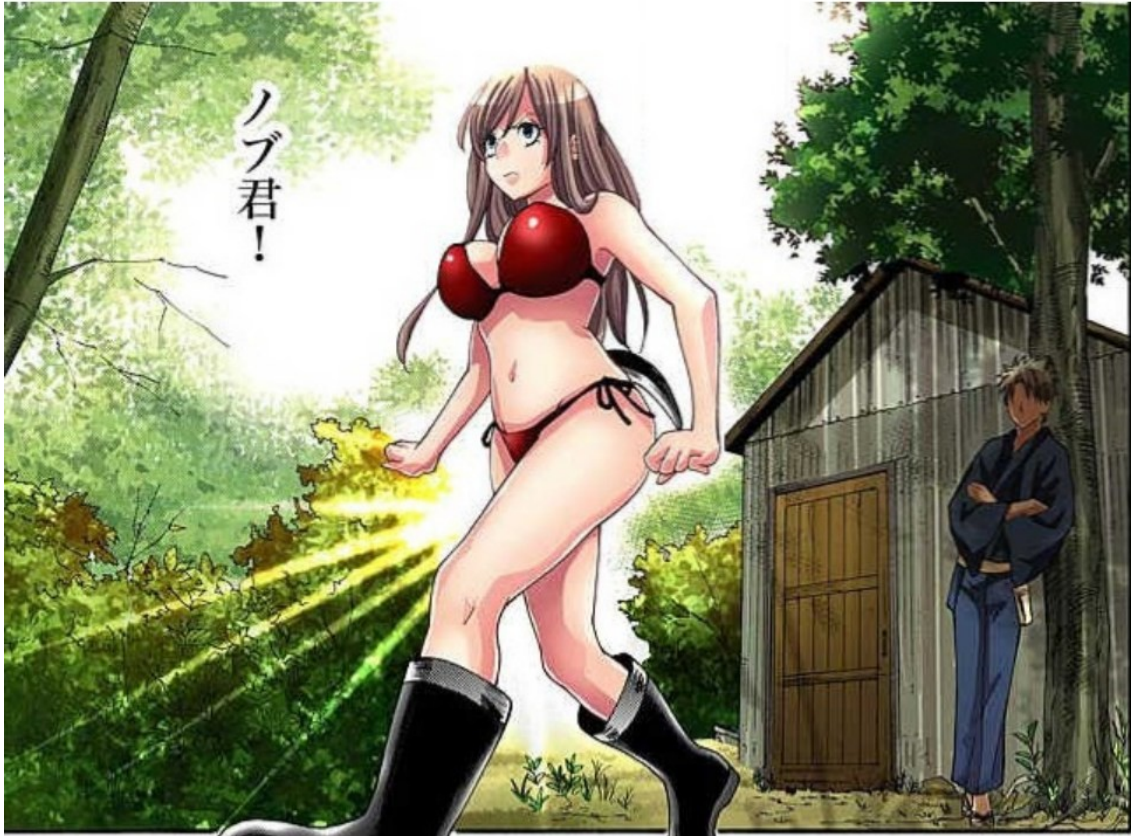
ノブ君は
絶対に
見つける…!



待つぞで



あたし一人で!









END

END



オトコ

S
ADOGASHIMA

調教無法地帯

2

愛川あん

CONTENTS

001

第4話

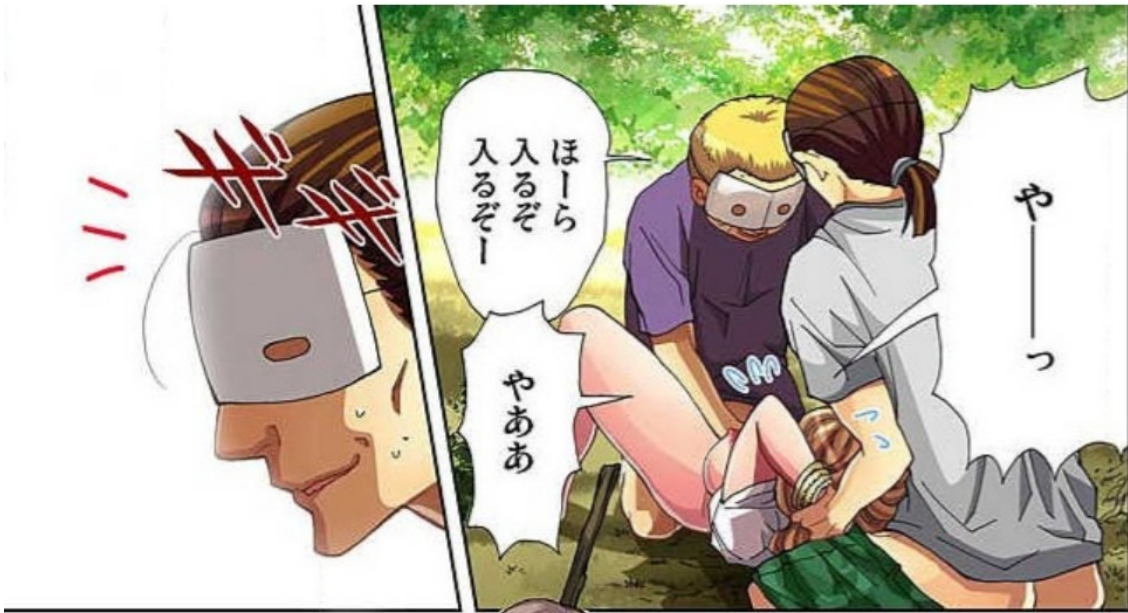
027

第5話

053

第6話

※この漫画はフィクションです。実際の人物、団体名等とは関係ありません。







つまり

「強姦事件には」
目をつぶる...





エモノ逃がして
くれちゃった責任
とってくれんの？

オレらMAX
燃えてるトコロよ



ノブ君!!



ノブ君……!



うっ!!



ヒッ
ッ
ッ

もう一度
ノブ君に会うためなら



ノブ君は…
主人はどこ？

何だつてこわくない！



し知らねーよ
オレら！



答えなさい！
知ってるん
でしょ!?

わーっ
待て待て待て



あ…

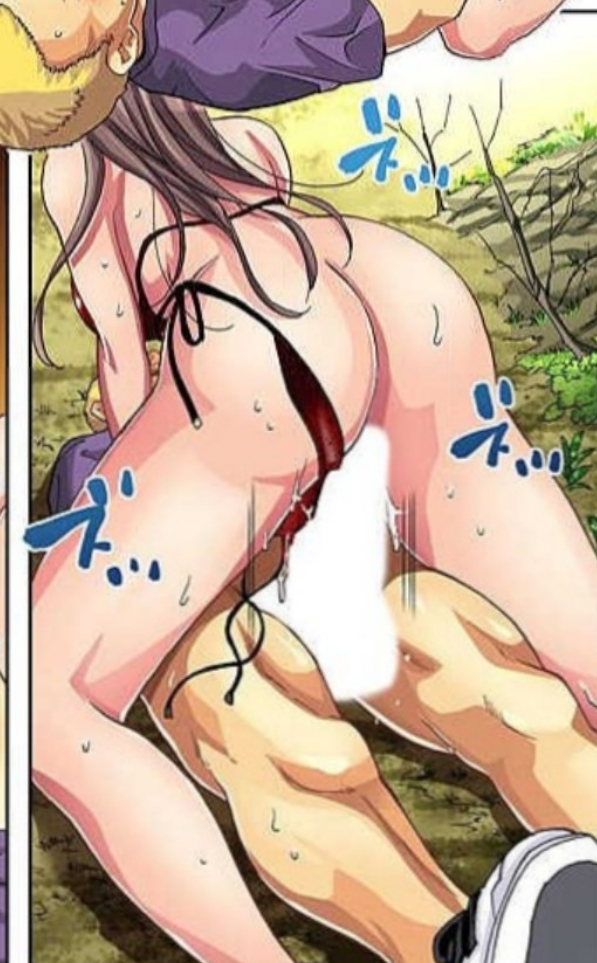


人ひとり
死んだりしたら
もう言い逃れできないわよ















うそ……



そんなことありえない

まそんなわけで
ホントに殴ったわけ
じゃないから
傷害はナシなっ



いっつも使う
闇サイトツアード

今回はあんたのダシナの
計画に協力する客を
募集してたんだっ



どーいう夫婦関係なの？
嫁つれて来てレイプ
させよーなんてさあ

今頃旅館の
モニター室で
楽しんでるぜ

うそよそんな……



あの優しいノブ君が
あたしにこんなこと
させるわけない!!















監視カメラの
死角をぬって
いけば大丈夫

さあ三人とも
一緒においで



……？

この女のせい^{ひと}で慎太さんが……？



小船を
つないであるんだ

マゾケ島まで
行けば安全だよ



男共に復讐
できるのさ

この薬を
使ってね

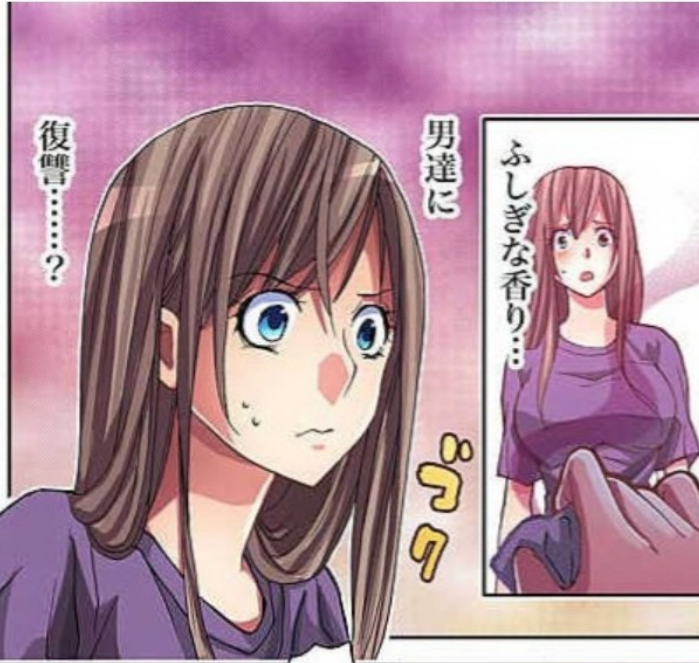
面白い
だろ？

あんなたちを
犯した奴らに
思い知らせて
やりたくない
かい？



それだけじゃない

マゾケ島でなら





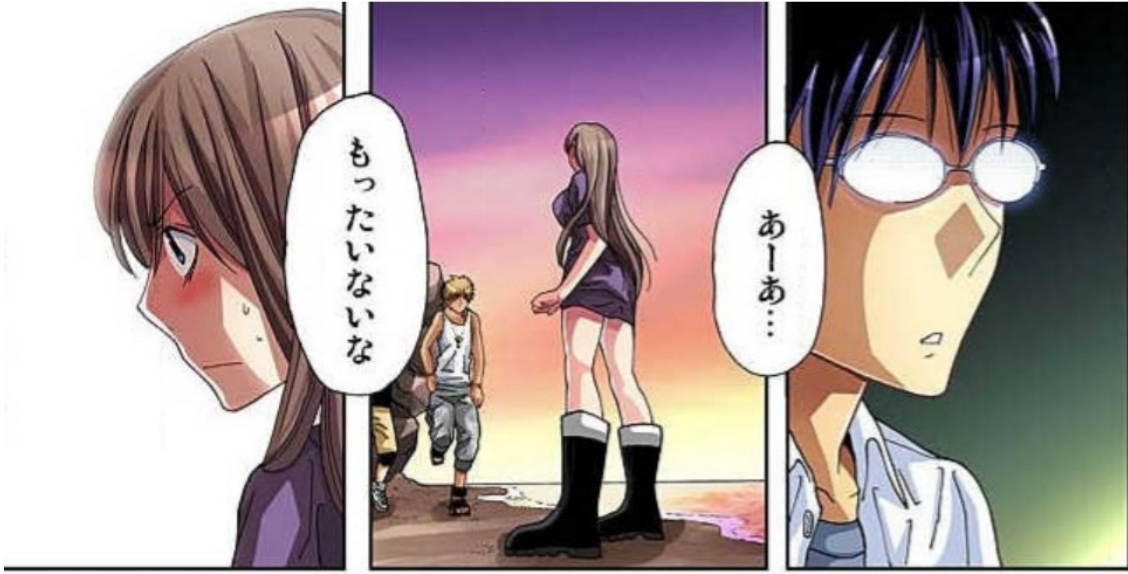


サドヶ島

S ADOGASHIMA

調教無法地帯

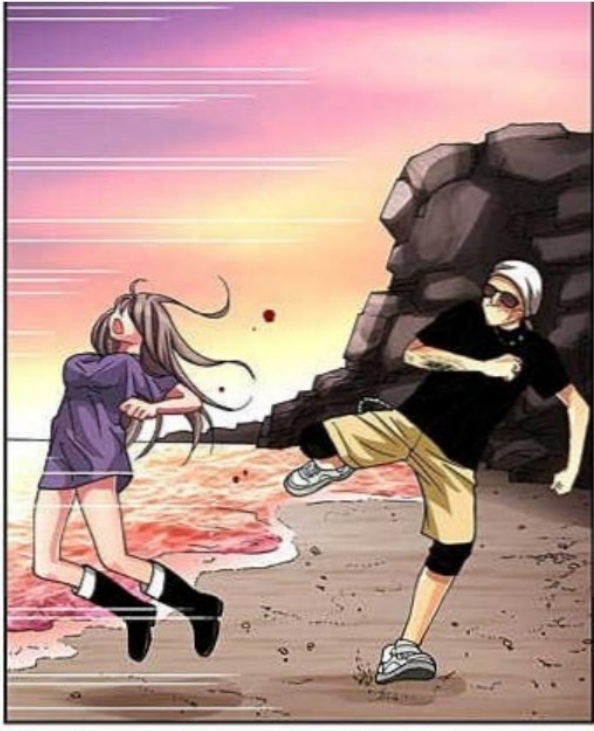
第5話















やめて——っ!!

オラオラ
こっちの穴に
入れたこととか
ねーだろ
クソ女!

ぬり
ぬり
ぬり











ノブ君に会って

もう一度
前のような
ふたりに
戻るまで

何でも
するって
決めたから

キモチいいですって
言ってみろよオ

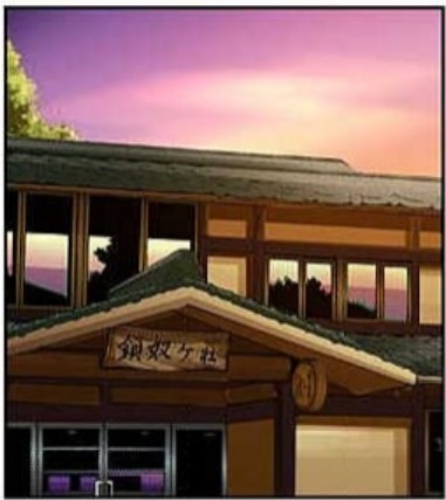


あたしの過ちは
消えなくても

よくなって
きちゃった?

あ!あ

いや...



どんなことにも
耐えぬく...!!

んんん
んんん
んん...!!



わざわざ
ありがとう

かほりが
使ってたものか



君が妻を
いくら汚そうと
かまわない



君に
俺の気持ちは
わからない
だろうね



憎くないん
ですか？



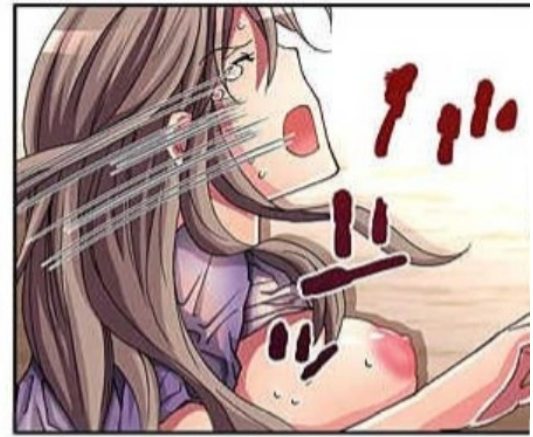
ただし――



貴方の奥さんを
犯した相手が
目の前に
いるのですよ









タマんね…
!?



女性に暴力は
ふるわないという
決まりでござんすからね



いけませんねえ
お客様



初めに
契約を交わして
いただいたはず
残念ですが
島から退去して
いただきますぜ



はああ!!?
何言ってるんだよ
金払ってん
だろーが





この島で
許されるのは

凌辱行為のみ……!!







ノブ君…



ノブ君…



もう…

心が折れそう
だよお…



夢中で菜奈さんに
ついて来たから
道がわからなくなっちゃった





サドヶ島

S ADOGASHIMA

調教無法地帯

第6話





女将の命さえなきや
今ここで...な



心配しなくても
襲やしませんよ
今は



この先もせいぜい
気をつける
こったな！
ひどい

何で男たちに
こんな思いさせられなきや
いけないの!?



全くだ



こんな島...
この島の
男たちなんて...!



民家だわ



女の人……!

ほんとかい
それ



え……っ

やっぱり慎太と
逢引きしに
来たのかねえ

わざわざ
危険を冒してかい?
一旦逃げ出したのに



女将にもれなく
報告したけどね



旅館の場所を
聞いてみようかな……

そうだよ
あれは確かに
菜奈だった













あれが

ああああ
ああ

女ってやつなんだ



お前女まだだった
よなあ

やってみるか？



おう慎太か



嫌がっでみせてるけど

どうせ良くなるんだろ

女ってそうなんだろ



何だい トオル

媚薬おくれ
媚薬ー



だめだよこれは
お客様用だろ？

いいじゃんケチ



おーい 慎太ー



...

ヒキヒキ















えへへ…でも



どうしよう
女将？

ほっときな
あの…ヤ



奥さんとなら
オレこのままで
いいや…♡

ちよつと
さわらないでっ!!



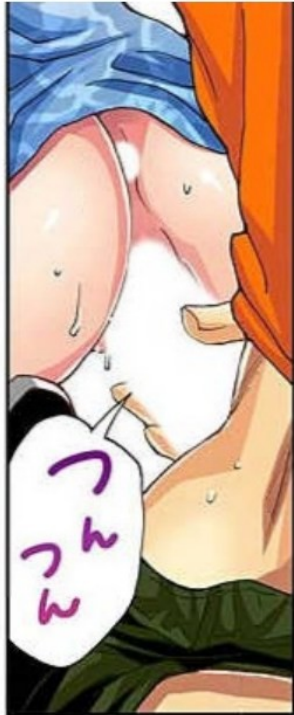
あきらめてオレと
楽しもうよ

や…だっ!



ムリでしょ
こんな狭いん
だから

ハァ





薬...?

まっ いいか♡

ハア

ハア



そうだ
この香り



あれっ
でもおかしいな？

もっとトロトロに
なるはずなんだけどな

あ

あ

クスリ
きいてねー
じゃん



やあ...

あーっ

あー
出るうう

ああ
奥さーん



何なの？
復讐って...

うっ



菜奈さんが持ってた
薬と同じ...!

男に復讐
するのさ

この薬を
使ってね



出したばっかだけど



おっ
何だ何だ？



おや

…そうか
トオルの奴…



媚薬と間違えて
あつちを持って
いったな

クエ



また勃ってきたぞお♡

あああっ







あつ

俺がかほをこんな目に
遭わせるなんて
って...

ガ
チヤ



言ってくれる

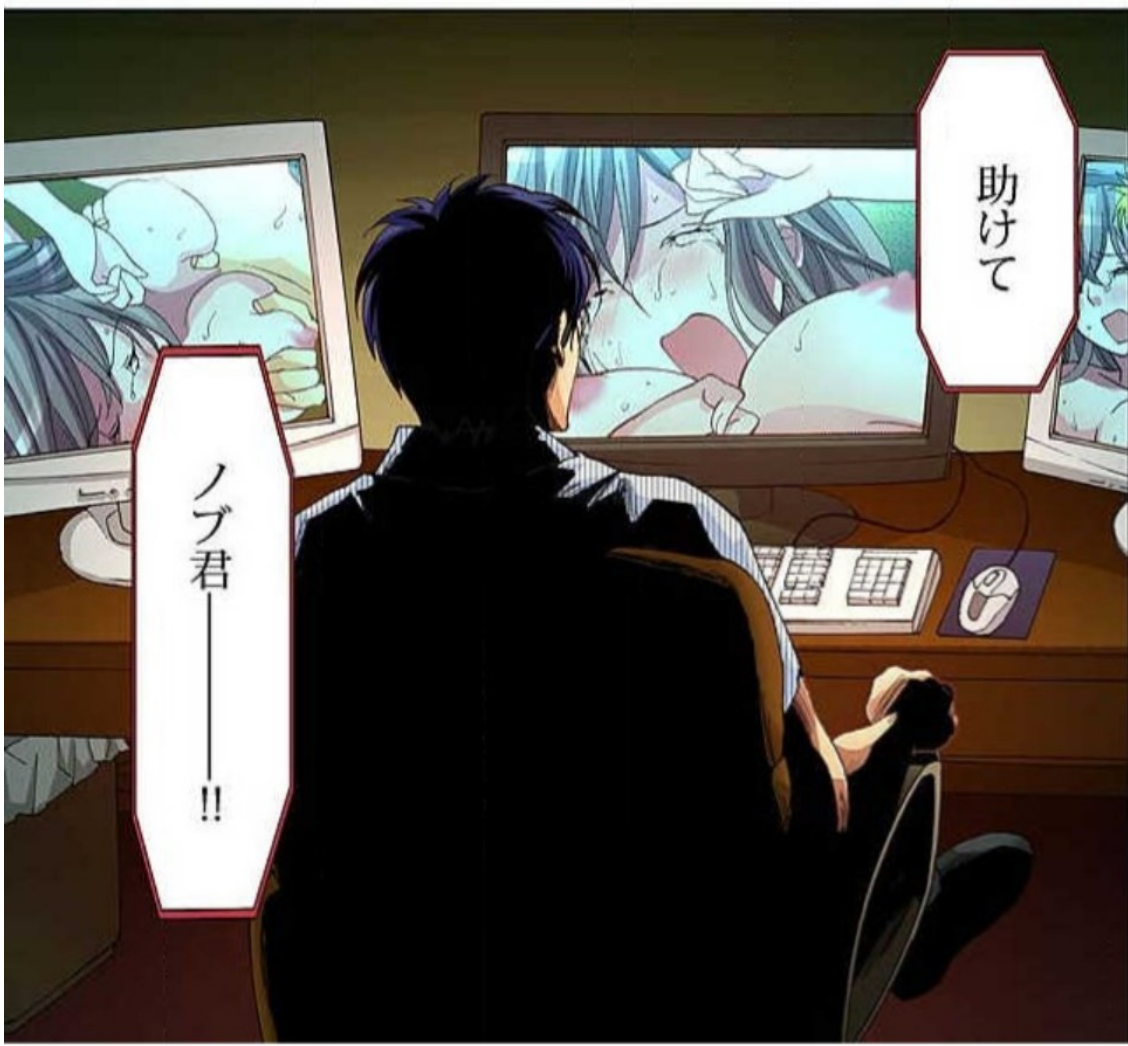
そんなわけ
ないだろって

モニター室



ひびく目であつたね

かわいそうにって
抱きしめてくれて



ノブ君——
!!

助けて

— END —

— END —